

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシー I		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	60回	8単位(120時間)	必須	川人 宏行

## 授業の概要

経営戦略、システム戦略、開発技術、プロジェクトマネジメント、コンピュータのハードウェア/ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティなど、ITの基礎的な知識を習得する

## 授業終了時の到達目標

- ・経済産業省 ITパスポート試験 合格
- ・経営に関する基礎的な知識を理解する
- ・IT(情報技術)に関する基礎的な知識を理解する

## 実務経験有無

## 実務経験内容

有

エンジニアとして5年間勤務  
社会人経験を活かし、学生のロールモデルとなるように授業展開する

## 時間外に必要な学修

## 【授業準備】

次回の授業内容を踏まえてテキストを用いて予習する

回	テーマ	内容
1~2	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・コンピュータの種類  確認テストを実施し、理解度を確認する
3~4	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・コンピュータの基本構成  確認テストを実施し、理解度を確認する
5~6	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・プロセッサとメモリ  確認テストを行い理解度を確認する
7~8	ハードウェアとソフトウェア	以下の内容を理解する ・オペレーティングシステム  確認テストを行い理解度を確認する
9~10	データベース	以下の内容を理解する ・データベースの構築  確認テストを行い理解度を確認する
11~12	データベース	以下の内容を理解する ・データベース管理システム  確認テストを行い理解度を確認する
13~14	ネットワーク	以下の内容を理解する ・ネットワークの基本構成  確認テストを行い理解度を確認する
15~16	ネットワーク	以下の内容を理解する ・インターネット技術  確認テストを行い理解度を確認する

回	テ ー マ	内 容
17～ 18	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 情報セキュリティの概要  確認テストを行い理解度を確認する
19～ 20	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 情報セキュリティの対策  確認テストを行い理解度を確認する
21～ 22	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 暗号技術  確認テストを行い理解度を確認する
23～ 24	セキュリティ	以下の内容を理解する ・ 認証技術  確認テストを行い理解度を確認する
25～ 26	情報システム	以下の内容を理解する ・ システムの構成  確認テストを行い理解度を確認する
27～ 28	情報システム	以下の内容を理解する ・ システムの評価指標  確認テストを行い理解度を確認する
29～ 30	マルチメディアとインタフェース	以下の内容を理解する ・ マルチメディア技術  確認テストを行い理解度を確認する
31～ 32	マルチメディアとインタフェース	以下の内容を理解する ・ ヒューマンインタフェース技術  確認テストを行い理解度を確認する
33～ 34	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ システム開発技術  確認テストを行い理解度を確認する
35～ 36	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ データ構造とアルゴリズム  確認テストを行い理解度を確認する
37～ 38	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ プログラミング  確認テストを行い理解度を確認する
39～ 40	プロジェクトマネジメント	以下の内容を理解する ・ プロジェクトマネジメント  確認テストを行い理解度を確認する
41～ 42	サービスマネジメント	以下の内容を理解する ・ サービスマネジメント  確認テストを行い理解度を確認する

回	テーマ	内 容		
43～ 44	サービスマネジメント	以下の内容を理解する ・システム監査  確認テストを行い理解度を確認する		
45～ 46	企業と法務	以下の内容を理解する ・企業活動と組織形態  確認テストを行い理解度を確認する		
47～ 48	企業と法務	以下の内容を理解する ・業務把握と業務改善  確認テストを行い理解度を確認する		
49～ 50	企業と法務	以下の内容を理解する ・企業会計  確認テストを行い理解度を確認する		
51～ 52	企業と法務	以下の内容を理解する ・企業法務  確認テストを行い理解度を確認する		
53～ 54	経営戦略	以下の内容を理解する ・経営戦略マネジメント  確認テストを行い理解度を確認する		
55～ 56	経営戦略	以下の内容を理解する ・技術戦略マネジメント  確認テストを行い理解度を確認する		
57～ 58	システム戦略	以下の内容を理解する ・情報システム戦略  確認テストを行い理解度を確認する		
59～ 60	システム戦略	以下の内容を理解する ・システム企画  確認テストを行い理解度を確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのITリテラシー		出席率 確認テスト 期末試験	30.0% 30.0% 40.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Office演習 I		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	合田 千佳
授業の概要				
日本語入力環境でのパソコン操作と入力スキルを習得する フォルダーやファイル操作の基本スキルを習得する マイクロソフトWordの基本的な使い方を習得する				
授業終了時の到達目標				
マイクロソフトWordを利用して写真、表、図形等を用いて自己紹介を作成することができる 日本情報処理検定協会 日本語ワープロ検定試験 合格(10月受験予定)				
実務経験有無	実務経験内容			
有	営業事務として2年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する			
時間外に必要な学修				
【事前学習】				
次回授業の教科書の範囲を熟読し、意味の理解できない日本語にマークする				
回	テーマ	内容		
1	パソコン操作と日本語入力の基本	パソコンの種類と起動 マウスの操作に慣れる		
2	パソコン操作と日本語入力の基本	Windowsの画面とアプリケーションの起動 キーボードの名称と機能について		
3~ 5	パソコン操作と日本語入力の基本	ローマ字・ひらがな・漢字入力について タッチタイピングに慣れる		
6	Wordの基本	Wordの起動と終了 文書の作成、保存、読み込みについて		
7	Wordの基本	文書の印刷について 練習問題にチャレンジする		
8	入力操作の基本	ひらがなの入力と改行 文字の検索と置換 文字のコピーと貼り付け 練習問題にチャレンジする		
9	文字と段落の書式	フォント、段落、行間、インデントの設定 書式のコピーとクリアについて		
10	文字と段落の書式	練習問題にチャレンジ		
11	箇条書き	箇条書きの設定、解除 設定テクニック 練習問題にチャレンジ		
12	表の作成	表の作成 行や列の追加や削除 セルの結合と文字の配置について 表のデザインを変更する		

回	テ ー マ	内 容		
13	表の作成	練習問題にチャレンジ		
14	グラフィック要素 1	ワードアート、画像の挿入について 挿入した画像の各種調整方法について 練習問題にチャレンジ		
15	グラフィック要素 1	練習問題にチャレンジ		
16	グラフィック要素 2	スクリーンショットの撮り方 テキストボックスの挿入、設定について 図形の挿入と設定 練習問題にチャレンジ		
17	グラフィック要素 3	ページの背景色を変更する 図の体裁とアート効果を適用する 図形の書式を調整する 練習問題にチャレンジ		
18	はがきの作成	はがきの作成		
19	はがきの作成	差し込み印刷の方法 練習問題にチャレンジ		
20	スマートアート	スマートアートの使い方について デザインの変更、図形の追加 練習問題にチャレンジ		
21	レイアウトの区切り	ページ区切り、段組み、段区切り、セクション区切りについて 練習問題にチャレンジ		
22	長文の作成に便利な機能	スタイルと見出し、目次、表紙の作成 練習問題にチャレンジ		
23	グリーンティングカード	ページの向きと挿入 オンライン画像と挿入 図形の挿入とテキストの追加 練習問題にチャレンジ		
24～ 25	文書作成の応用例 1	ページ設定、テキストの挿入、書式の設定、箇条書きの設定、文字の配置 練習問題にチャレンジ		
26～ 27	文書作成の応用例 2	ヘッダーとフッターの設定、表の挿入・編集、データ入力、スタイル設定 練習問題にチャレンジ		
28～ 30	自己紹介を作成する	自己紹介ページを作成する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたんWord入門 技術評論社		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
ネットワーク基礎		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/前期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	3単位(90時間)	必須	采元 健二
授業の概要				
インターネットの特徴と基本的な仕組みを学ぶ LAN(ローカルエリアネットワーク)を構成する為に必要な知識を取得し、小規模なLANの設定を行う				
授業終了時の到達目標				
ネットワークの種類や、ネットワーク接続装置の役割を説明できる LAN(ローカルエリアネットワーク)を構成する為に必要な知識を取得し、小規模なLANが構築できる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内容		
1	ネットワークを学ぼう	ネットワークとはそもそも何 身近なネットワークについて		
2	ネットワークを学ぼう	インターネットに接続するには		
3	ネットワークを学ぼう	LAN(ローカルエリアネットワーク)とは? ネットワークにつながるしくみ		
4~ 7	ネットワークを学ぼう	LANを作ってみよう WindowsPCを使ってLANを作る		
8~ 9	ネットワークを学ぼう	ネットワークケーブルを作成する		
10~ 12	課題① 指定した条件でネットワークを作成 する	ネットワークケーブルを作成し、作成したケーブルを使ってLANを作成する		
13~ 14	用語の整理	これまで学んだネットワーク用語について整理する		
15	用語の確認テスト①	これまで学んだネットワーク用語についての確認テスト		
16	用語の確認テストの解説	用語の解説		
17~ 18	データはネットワークをどう流れる?	WebブラウザからWebサーバーへと向かうデータを追跡しよう		
19	ネットワークモデルを知ろう	OSI参照モデルについて		
20	ネットワークモデルを知ろう	各層の役割について		
21	ネットワークモデルのプロトコルを知ろう	プロトコルって何 OSI参照モデルの各層に対応するプロトコルについて		
22~ 25	ネットワークモデルのプロトコルを知ろう	OSI参照モデルの各層に対応するプロトコルについて		

回	テ ー マ	内 容		
26	IPアドレス	IPアドレスとは？		
27～ 30	課題② 指定した条件でネットワークを作成する	ネットワークケーブルを作成し、作成したケーブルを使ってLANを作成する		
31～ 32	用語の整理	これまで学んだネットワーク用語について整理する		
33	用語の確認テスト②	これまで学んだネットワーク用語についての確認テスト		
34	用語の確認テストの解説	用語の解説		
35	ネットワーク内のサーバーについて	特にDHCPサーバーの役割と機能について その他のサーバーの働きを知ろう		
36	無線LANについて	身の回りで無線LANがどのように利用されているか 公衆無線LAN、学校の無線LAN		
37	無線LANについて	無線LANに関わる用語を知る SSID、暗号化		
38～ 40	無線LANについて	無線LANアクセスポイントの設定を行う		
41～ 42	課題③ 指定した条件で無線LANアクセスポイントを設定する	指定した条件でアクセスポイントを設定する		
43	用語の整理	これまで学んだネットワーク用語について整理する		
44	用語の確認テスト③	これまで学んだネットワーク用語についての確認テスト		
45	用語の確認テストの解説	用語の解説		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
今すぐ使えるかんたんネットワークのしくみ 超入門 技術評論社		確認テスト 課題・レポート 出席率	40.0% 40.0% 20.0%	【事前学習】 各回の授業で登場するネットワーク用語を次回までに復習をする

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語基礎 I		国際 IT エンジニア学科セ キュリティコース (3年)	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位 (90時間)	必須	田邊 順子

## 授業の概要

日本語能力試験 N3 レベルの日本語力の定着と N2 試験対策のための学習を行う

## 授業終了時の到達目標

日本語能力試験 N2 レベルの日本語力の習得  
高等教育の授業を理解するための聴解・読解・表現スキルの習得

実務経験有無 実務経験内容

## 時間外に必要な学修

## 【事前学習】

教科書の次回学習範囲を読んでくること  
指示された箇所をオンライン授業の前までにやっておく

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 復習	オンライン授業上の注意 既習事項の復習
2	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
3	文法	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解
4	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
5	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解
6	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
7	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
8	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解
9	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
10	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
11	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解



回	テ ー マ	内 容
12	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
13	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
14	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解
15	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
16	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
17	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解
18	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
19	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
20	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解
21	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
22	語彙	N3レベルの語彙の復習 N2レベルの新しい語彙の理解
23	文法・聴解	N3レベルの文法の復習 N2レベルの新しい文法の理解 N3, N2レベルの聴解
24	読解・文字	N3, N2レベルの読解 初級漢字の復習 中級漢字
25	語彙・文法	テN2レベルの新しい語彙の理解 N2レベルの新しい文法の理解
26	聴解・記述	N2レベルの聴解 講義・発表の聴き取りと要約 文章表現の理解
27	読解・文字	N2レベルの読解 まとまった文章を読み、理解し、自分の考えを表現する 中級漢字
28	語彙・文法	N2レベルの新しい語彙の理解 N2レベルの新しい文法の理解
29	聴解・記述	N2レベルの聴解 講義・発表の聴き取りと要約 文章表現の理解

回	テ ー マ	内 容		
30	読解・文字	N2レベルの読解 まとまった文章を読み、理解し、自分の考えを表現する 中級漢字		
31	語彙・文法	N2レベルの新しい語彙の理解 N2レベルの新しい文法の理解		
32	聴解・記述	N2レベルの聴解 講義・発表の聴き取りと要約 文章表現の理解		
33	読解・文字	N2レベルの読解 まとまった文章を読み、理解し、自分の考えを表現する 中級漢字		
34	語彙・文法	N2レベルの新しい語彙の理解 N2レベルの新しい文法の理解		
35	聴解・記述	N2レベルの聴解 講義・発表の聴き取りと要約 文章表現の理解		
36	読解・文字	N2レベルの読解 まとまった文章を読み、理解し、自分の考えを表現する 中級漢字		
37	語彙・文法	N2レベルの新しい語彙の理解 N2レベルの新しい文法の理解		
38	聴解・記述	N2レベルの聴解 講義・発表の聴き取りと要約 文章表現の理解		
39	読解・文字	N2レベルの読解 まとまった文章を読み、理解し、自分の考えを表現する 中級漢字		
40	語彙・文法	N2レベルの新しい語彙の理解 N2レベルの新しい文法の理解		
41	聴解・読解	N2レベルの聴解 N2レベルの読解		
42～ 44	前期総復習	期末テストに向け、前期で学習したことの復習		
45	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語文型辞典 くろしお出版		期末試験	60.0%	
参考文献		確認テスト	20.0%	
日本語総まとめN2文法 アスク出版		出席率	20.0%	
日本語総まとめN2語彙 アスク出版				
留学生のための漢字の教科書中級700 国 書刊行会				

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザイン I		国際 IT エンジニア 学科セ キュリティコース (3年)	2020/前期	講義
授業時間	回数	単位数 (時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位 (30時間)	必須	采元 健二
授業の概要				
日本で就職することを見据えて、学生の日々の生活状況の確認を行う 学内、学外での活動を通じて、日本ならではの文化や日本人ならではの考え方を理解する				
授業終了時の到達目標				
学内、学外での活動をきっかけに日本文化に積極的に触れることができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
2~ 4	生活状況の確認 レポート作成①	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
5	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
6~ 8	生活状況の確認 レポート作成②	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
9	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う		
10~ 12	生活状況の確認 レポート作成③	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
13~ 14	日本文化に触れる	学外で日本文化に触れる		
15	日本文化に触れる	日本文化に触れる レポート提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
コンピュータリテラシーⅡ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	梶河 沙耶子
授業の概要				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの仕組みを含めた、ITに関連するさまざまな技術と知識について、基礎を学習する</li> <li>・企業活動における、ITとの関連について学習する</li> </ul>				
授業終了時の到達目標				
ITパスポート(国家試験)取得				
実務経験有無	実務経験内容			
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	ストラジ系 第1章 企業と法務	ITパスポートの概要 1-1 企業活動 1-1-1 経営・組織論 1-1-2 OR・IE 1-1-3 会計・財務 1-1-4 演習問題		
2	第1章 企業と法務	1-2 法務 1-2-1 知的財産権 1-2-2 セキュリティ関連法規 1-2-3 労働関連・取引関連法規		
3		1-2 法務 1-2-4 その他の法律・技術者倫理 1-2-5 標準化関連 1-2-6 演習問題		
4	第2章 経営戦略	2-1 経営戦略マネジメント 2-1-1 経営情報分析手法 2-1-2 経営戦略に関する用語 2-1-3 マーケティング		
5		2-1 経営戦略マネジメント 2-1-4 ビジネス戦略と目標・評価 2-1-5 経営管理システム 2-1-6 演習問題		
6	第2章 経営戦略	2-2 技術戦略マネジメント 2-2-1 技術開発戦略の立案・技術開発計画 2-2-2 演習問題		
7	第2章 経営戦略	2-3 ビジネスインダストリ 2-3-1 ビジネスシステム 2-3-2 エンジニアリングシステム 2-3-3 e-ビジネス		

回	テ ー マ	内 容
8		2-3 ビジネスインダストリ 2-3-4 IoTシステム・組み込みシステム 2-3-5 演習問題
9	第3章 システム戦略	3-1 システム戦略 3-1-1 情報システム戦略 3-1-2 業務プロセス 3-1-3 ソリューションビジネス
10		3-1 システム戦略 3-1-4 システム活用促進・評価 3-1-5 演習問題
11	第3章 システム戦略	3-2 システム企画 3-2-1 システム化計画 3-2-2 要件定義 3-2-3 調達計画・実施 3-2-4 演習問題
12	マネジメント系 第4章 開発技術	4-1 システム開発技術 4-1-1 システム開発のプロセス 4-1-2 システム開発のテスト
13		4-1 システム開発技術 4-1-3 ソフトウェアの見積り 4-1-4 演習問題
14	第4章 開発技術	4-2 ソフトウェア開発管理技術 4-2-1 開発プロセス・手法 4-2-2 演習問題
15	第5章 プロジェクトマネジメント	5-1 プロジェクトマネジメント 5-1-1 プロジェクトマネジメントの基礎知識 5-1-2 プロジェクトマネジメントの知識体系 5-1-3 プロジェクトの日程・進捗管理 5-1-4 演習問題
16	第6章 サービスマネジメント	6-1 サービスマネジメント 6-1-1 サービスマネジメント 6-1-2 サービスサポート
17		6-1 サービスマネジメント 6-1-3 ファシリティマネジメント 6-1-4 演習問題
18	第6章 サービスマネジメント	6-2 システム監査 6-2-1 システム監査 6-2-2 内部統制 6-2-3 演習問題

回	テ ー マ	内 容
19	テクノロジ系 第7章 基礎理論	7-1 離散数学 7-1-1 数と表現 7-1-2 2進数の計算と負の数の表現
20		7-1 離散数学 7-1-3 集合と論理演算 7-1-4 応用数学
21		7-1 離散数学 7-1-5 情報に関する理論 7-1-6 演習問題
22	第7章 基礎理論	7-2 アルゴリズムとプログラミング 7-2-1 データ構造 7-2-2 アルゴリズム
23		7-2 アルゴリズムとプログラミング 7-2-3 プログラミング・プログラム言語 7-2-4 マークアップ言語 7-2-5 演習問題
24	第8章 コンピュータシステム	8-1 コンピュータ構成要素 8-1-1 プロセッサ 8-1-2 メモリ
25		8-1 コンピュータ構成要素 8-1-3 補助記憶装置 8-1-4 入出力デバイス 8-1-5 演習問題
26	第8章 コンピュータシステム	8-2 システム構成要素 8-2-1 システムの処理形態・利用形態 8-2-2 メモリ
27		8-2 システム構成要素 8-2-3 システムの信頼性設計 8-2-4 システムの評価指標 8-2-5 演習問題
28	第8章 コンピュータシステム	8-3 ソフトウェア 8-3-1 OS(オペレーティングシステム) 8-3-2 ファイルシステム 8-3-3 オフィスツール
29		8-3 ソフトウェア 8-3-4 表計算ソフト 8-3-5 オープンソースソフトウェア 8-3-6 演習問題
30	第8章 コンピュータシステム	8-4 ハードウェア 8-4-1 コンピュータ 8-4-2 入出力装置 8-4-3 演習問題

回	テ ー マ	内 容
31	第9章 技術要素	9-1 ヒューマンインタフェース 9-1-1 ヒューマンインタフェース技術 9-1-2 インタフェース設計 9-1-3 演習問題
32	第9章 技術要素	9-2 マルチメディア 9-2-1 マルチメディア技術 9-2-2 グラフィックス処理 9-2-3 マルチメディア応用 9-2-4 演習問題
33	第9章 技術要素	9-3 データベース 9-3-1 データベース方式 9-3-2 データベース設計
34		9-3 データベース 9-3-3 データ操作 9-3-4 トランザクション処理 9-3-5 演習問題
35	第9章 技術要素	9-4 ネットワーク 9-4-1 ネットワーク方式 9-4-2 通信プロトコル 9-4-3 インターネットの仕組み
36		9-4 ネットワーク 9-4-4 インターネットサービス 9-4-5 通信サービス 9-4-6 演習問題
37	第10章 情報セキュリティ	10-1 情報セキュリティ 10-1-1 情報セキュリティの概要 10-1-2 技術的脅威の種類と特徴
38		10-1 情報セキュリティ 10-1-3 サイバー攻撃の種類と特徴 10-1-4 演習問題
39	第10章 情報セキュリティ	10-2 情報セキュリティ管理 10-2-1 リスクマネジメント 10-2-2 情報セキュリティマネジメント 10-2-3 演習問題
40	第10章 情報セキュリティ	10-3 情報セキュリティ対策・実装技術 10-3-1 情報セキュリティ対策の種類 10-3-2 情報セキュリティの対策方法・技術
41		10-3 情報セキュリティ対策・実装技術 10-3-3 暗号技術 10-3-4 認証技術と電子証明書
42		10-3 情報セキュリティ対策・実装技術 10-3-5 利用者認証・生体認証 10-3-6 演習問題
43~ 44	過去問題	過去問題

回	テ ー マ	内 容		
45	期末試験	期末試験		
	教科書・教材	評価基準	評価率	その他
ITパスポート	教科書+模擬問題	出席率 確認テスト 期末試験	50.0% 10.0% 40.0%	



科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
Office演習Ⅱ		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/後期	演習
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	2単位(60時間)	必須	山村 孝子
授業の概要				
日本語入力環境でのパソコン操作と入力スキルを習得する フォルダーやファイル操作の基本スキルを習得する マイクロソフトExcelの基本的な使い方を習得する				
授業終了時の到達目標				
マイクロソフトExcelを利用して毎月の自分の家計簿を作成することができる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		CAD&事務として9年の実務経験 これまでのMicrosoft Officeを用いたデータ分析資料や財務資料、プレゼンテーション資料、ビジネス文書作成などの経験を活かし学生の技術力を高める授業を展開する		
時間外に必要な学修				
【事前学習】 次回授業の教科書の範囲を熟読し、意味の理解できない日本語にマークする				
回	テーマ	内容		
1~2	Excelの基本	Excelの起動と終了, 保存フォルダーの作成 Excelの画面 シートの作成と削除 ブックの保存 ブックの読み込み シートの印刷 テンプレート 練習問題にチャレンジ		
3~4	セル操作の基本	セルとシートの基本 データの入力と修正 データの消去, セルの削除・挿 データのコピーと移動 オートフィル セルの表示形式 練習問題にチャレンジ		
5~6	セルの編集	表示形式 配置 フォント 罫線 塗りつぶし 練習問題にチャレンジ		
7~8	表の編集	表のスタイル(書式)設定 テーブルの並べ替えと解除 条件付き書式 表の検索と置換 練習問題にチャレンジ		

回	テーマ	内容
9～ 10	式と計算の基本	式の入力と計算 合計の計算 関数を使った合計の計算 平均の計算 スパークライン 練習問題にチャレンジ
11～ 12	相対参照・絶対参照	相対参照 絶対参照 複合参照 練習問題にチャレンジ
13～ 14	表の式と計算	割合の計算 達成率の計算 練習問題にチャレンジ
15～ 16	グラフ機能	円グラフの作成 グラフの移動とサイズ変更 グラフの色やレイアウト, スタイルの変更 練習問題にチャレンジ
17～ 18	棒グラフ	棒グラフの作成 棒グラフの種類や表示の変更 グラフシート 練習問題にチャレンジ
19～ 20	折れ線グラフ・箱ひげ図	折れ線グラフの作成 箱ひげ図 練習問題にチャレンジ
21～ 22	シート間の参照と画像・図形の挿入	別シートのセルを参照 コメントの挿入と削除 画像の挿入 図形の挿入 練習問題にチャレンジ
23～ 24	関数と数式の基本	関数の基本 合計 平均 最大 最小 練習問題にチャレンジ
25～ 26	条件分岐と論理式	IF関数と条件分岐 IFS関数と複数の条件分岐 COUNTIF関数 練習問題にチャレンジ
27～ 28	データの抽出	リスト形式 フィルターの設定と解除 データの抽出と解除 いろいろな抽出方法 複数項目のデータの抽出 練習問題にチャレンジ

回	テ ー マ	内 容		
29～ 30	データの並べ替え	リスト形式 データの並べ替え 複数項目の並べ替え 練習問題にチャレンジ		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
留学生のためのかんたんExcel入門 技術 評論社		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
セキュリティ基礎		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	30回	4単位(60時間)	必須	采元 健二
授業の概要				
インターネットや携帯電話・スマートフォンは便利けれども危険性もあることを理解し、ネット社会における必要な知識としての情報モラルを身につける				
授業終了時の到達目標				
インターネット上のトラブルや詐欺事件、個人情報の流出など、さまざまな問題を理解するとともに留学生が日本で生活するための最低限の情報モラルを身につける				
実務経験有無		実務経験内容		
時間外に必要な学修				
[準備学習] セキュリティ特有の専門用語がたくさんあるので、その日に出てきた用語はきちんとまとめて、次の授業に備えてください				
回	テーマ	内容		
1	携帯電話・スマートフォンのマナー	公共の場所でのルールとマナー 携帯電話やスマートフォンの電波		
2	ソーシャルメディア	SNSの特徴 ソーシャルメディアの情報公開範囲		
3	ネット上のコミュニケーション	炎上のメカニズム インターネット上の匿名性とIPアドレス		
4	コミュニケーションアプリ	LINEのよいところと注意すべきところ コミュニケーションアプリの無料通話のしくみ		
5	迷惑メール	迷惑メールの分類 迷惑メールが届くしくみ		
6	情報の選択と信憑性	選択した情報の信憑性を判断する基準 検索エンジン最適化		
7	ネットへの依存	歩きスマホ インターネット上でメッセージが届くまでの時間		
8	画像の共有と発見	肖像権とパブリシティ権 画像のファイルの種類		
9	位置情報サービス	GPSの便利な機能 GPSの仕組みと連動		
10	クラウドサービス	クラウドコンピューティング インターネットによる認証とバックアップ		
11	動画の共有と発信	動画共有サイトの活用 動画のしくみと圧縮		

回	テーマ	内 容		
12	ネットショッピング	ネットショッピングにおける契約 安全なWebサイト		
13	ネットオークション	エクスローサービスの利用 送信ドメイン認証技術		
14	ソーシャルゲーム	ソーシャルゲームの中毒性がもたらす影響 アカウントハッキング		
15	不当請求	スマートフォンの湾クリック詐欺 ゼロクリック詐欺の手口		
16	オンライン詐欺	フィッシング詐欺の手口 「電子証明書」の確認		
17	個人情報のコントロール	情報の提供と配慮 個人情報の組み合わせ		
18	個人情報の流出	使用済み携帯電話やスマートフォンの廃棄 個人情報の流出とアプリの設定		
19	個人情報の保護	個人情報保護法 個人情報の漏洩対策と生態認証		
20	レポート作成と引用	論文の引用と盗用 論文の盗用チェック		
21	文章や画像の利用	学校の授業における著作権 著作権保護とデジタルすかし		
22	音楽や映像の利用	著作権法と人工知能（AI） デジタル著作物の保護		
23	音楽著作権	著作隣接権 「通信カラオケ」の配信のしくみ		
24	パスワードの管理	パスワードを守る工夫とマナー 適切なパスワードの作成		
25	不正アクセス	不正アクセス行為 アクセス制御		
26	無線LANと暗号化	暗号化の必要性 共通鍵方式と公開鍵方式		
27	フィルタリング	スマートフォンの2種類のインターネット接続 フィルタリングの方式		
28	不正アプリ	キーロガーの悪用 スパイウェアの侵入		
29	コンピュータウイルス	スマートフォンの安全対策 ファイル拡張子とその偽装		
30	データの流出	さまざまな場面でのデータ流出 ハードディスク上のファイル		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
2020事例でわかる情報モラル30テーマ		期末試験 確認テスト 出席率	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
国家試験対策Ⅰ(ITパスポート)		国際ITエンジニア学科セキュリティコース(3年)	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	40回	5単位(80時間)	必須	川人 宏行
授業の概要				
ITパスポートの試験対策を行う				
授業終了時の到達目標				
令和2年度 ITパスポート 合格				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エンジニアとして5年間勤務		
時間外に必要な学修				
【準備学習】 前期で学習したIT用語、ビジネス用語を復習しておく				
回	テーマ	内容		
1~2	コンピュータシステム(ハードウェア)	ハードウェア分野の試験対策を行う		
3~4	コンピュータシステム(基礎理論)	基礎理論分野の試験対策を行う		
5~6	コンピュータシステム(ソフトウェア)	ソフトウェア分野の試験対策を行う		
7~8	コンピュータシステム(マルチメディア)	マルチメディア分野の試験対策を行う		
9~10	コンピュータシステム(ヒューマンインターフェース)	ヒューマンインターフェース分野の試験対策を行う		
11~12	コンピュータシステム(システム構成)	システム構成分野の試験対策を行う		
13~14	コンピュータの技術要素(データベース)	データベース分野の試験対策を行う		
15~16	コンピュータの技術要素(ネットワーク)	ネットワーク分野の試験対策を行う		
17~18	コンピュータの技術要素(情報セキュリティ)	情報セキュリティ分野の試験対策を行う		
19~20	システム開発(アルゴリズムとプログラミング)	アルゴリズムとプログラミング分野の試験対策を行う		
21~22	システム開発(システム開発技術)	システム開発技術分野の試験対策を行う		
23~24	システム開発(プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント)	プロジェクトマネジメントとサービスマネジメント分野の試験対策を行う		
25~26	企業活動と情報システム(企業と法務)	企業と法務分野の試験対策を行う		
27~29	企業活動と情報システム(経営戦略)	経営戦略と法務分野の試験対策を行う		
30~32	企業活動と情報システム(経営戦略)	経営戦略と法務分野の試験対策を行う		

回	テ ー マ	内 容		
33～ 35	企業活動と情報システム（システム戦略）	システム戦略分野の試験対策を行う		
36～ 39	ITパスポート試験対策 答案練習	過去問題に慣れ、繰り返し答案練習することで知識を定着させる		
40	期末試験	ITパスポート試験の出題範囲より総合的に確認する		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		期末試験 出席率 確認テスト	40.0% 30.0% 30.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
日本語基礎Ⅱ		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	45回	6単位(90時間)	必須	畑, 安藤

## 授業の概要

日本語能力試験N3レベルの日本語力の定着のための学習を行う

## 授業終了時の到達目標

日本語能力試験N3レベルの日本語力の習得

## 実務経験有無

## 実務経験内容

## 時間外に必要な学修

## 【事前学習】

教科書の次回学習範囲を読んでくること

回	テーマ	内容
1	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
2	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
3	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
4	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
5	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
6	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
7	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
8	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
9	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
10	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
11	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
12	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
13	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
14	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
15	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする



回	テ ー マ	内 容
16	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
17	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
18	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
19	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
20	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
21	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
22	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
23	中間テスト	中間テストを実施し理解度を確認する
24	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
25	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
26	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
27	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
28	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する
29	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。
30	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする
31	日本語能力試験模試(言語知識・読解)	日本語能力試験模擬試験(言語知識・読解)に挑戦し、自分の習得度と弱点を知る
32	会話	場面に合った会話表現を習得し、自然な会話ができるようにする
33	日本語能力試験模試(言語知識・読解)のフィードバック	習得度と弱点を知る
34	文法	N3～N2レベルの文法の確認と定着をする
35	日本語能力試験模試(聴解)	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る

回	テ ー マ	内 容		
36	文法	N3～N2レベルの文法の確認と定着をする		
37	日本語能力試験模試(聴解)の フィードバック	日本語能力試験模擬試験(聴解)に対し、自分の習得度と弱点を知る		
38	音読・語彙	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
39	文法	N3レベルの文法の確認と定着をする		
40	音読・読解	正しい発音の習得・N3レベルの文章を読み理解する		
41	聴解・作文	テーマに沿った聴解が理解でき、自分の考えを表現できるようにする。		
42～ 44	前期総復習	期末テストに向け、前期で学習したことの復習をする		
45	期末テスト	期末テスト		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
日本語能力試験直前対策N3文字語彙文法 国書刊行会 新完全マスターN3読解 スリーエーネット ワーク 新完全マスターN3聴解 スリーエーネット ワーク		期末試験 中間テスト 出席率	40.0% 40.0% 20.0%	

科目名		学科/学年	年度/時期	授業形態
キャリアデザインⅡ		国際ITエンジニア学科セ キュリティコース(3年)	2020/後期	講義
授業時間	回数	単位数(時間数)	必須・選択	担当教員
90分	15回	2単位(30時間)	必須	川人 宏行
授業の概要				
日本で就職することを見据えて、学生の日々の生活状況の確認を行う 学内、学外での活動を通じて、日本ならではの文化や日本人ならではの考え方を理解する				
授業終了時の到達目標				
学内、学外での活動をきっかけに日本文化に積極的に触れることができるようになる				
実務経験有無		実務経験内容		
有		エンジニアとして5年間勤務		
時間外に必要な学修				
回	テーマ	内 容		
1	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
2~ 4	生活状況の確認 レポート作成①	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
5	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う 日本文化の紹介を行う		
6~ 8	生活状況の確認 レポート作成②	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
9	生活状況の確認 日本文化の紹介	生活状況の確認を行う		
10~ 12	生活状況の確認 レポート作成③	生活状況の確認を行う レポート作成を行う		
13~ 14	日本文化に触れる	学外で日本文化に触れる		
15	日本文化に触れる	日本文化に触れる レポート提出		
教科書・教材		評価基準	評価率	その他
		課題・レポート 出席率	70.0% 30.0%	